

青洲高校 『瑠璃店』開催

一月三日(金)文化の日、青洲高校において『瑠璃店』が開催されました。このイベントは、生徒の『自ら考える力』『つながる力』『挑む力』『成し遂げる力』の育成を目的としており、昨年度に引き続き二回目の開催となりました。学園祭とは異なり、総合学科高校である特色を前面に出し、普段の学びを活かした企画やアトラクションが数多く用意され、小さな子どもから高齢者の方々まで楽しめる内容となっております。この日は千人を超える地域の方々で賑わいました。

普通科では、三年生英語類型のクラスがブラジル人学校アルプス学園の生徒と一緒に、ミニ縁日や昔の遊び体験ができる企画を行い、英語と日本語を使って交流を楽しんでいました。若い世代のつながりは、混迷する世界で一筋の光が差し込んだ感じがしました。
工業科(土木工学科)では、トータルステーション(距離・角度・高さを測る機械)を使って『伝説のキノコを探せ』というアトラクションを行いました。



測量体験!!

は、参加者達に自分たちが普段学んでいることを教えることで、学びを深めるといった狙いや、教えることの難しさを知るといった狙いがあります。参加者には、普段どこかで目にしたことのある機械を実際に使ってみることで、どのようなことを行っているのかを体験してもらい、土木工学に対する理解を深めてもらうといった狙いがあります。
商業科では、山梨県住みます芸人の川がコラボし、地元食材にスポットを当て、富士川町十谷地区に伝わる“みみ”を鍋料理以外の方法で食べることや、お土産として活用することを目標として、みみチップス(コンソメ味・ペッパー味)を開発しました。限定四〇〇食

の試食を来校者に配布するとともに、アンケートに答えてもらい今後の商品開発に活かすといった取り組みを行いました。いっさいさんは、普段の授業にも参加し、積極的に開発に携わり、商品の完成に向けて意欲的に取り組んでいます。
この他にも、様々な売店や体験ブース・アトラクション、文化部による展示や交流・体験などが行われ、続々と訪れる地域の方々を笑顔で迎え入れ、お互いにとって有意義な時間を過ごしていました。



コラボ企画!!

※青洲高校土木工学科では、三年生の課題研究の一環として、トータルステーション二台を用いて市川小学校のグラウンドに陸上競技用と運動会用の二〇〇mトラックをそれぞれ測量し、ポイントを打つ作業を初めて行いました。市川小学校からの要請に応える形で行ったのですが、参加した生徒からは、自分たちが普段学んでいることが社会で役立つことが実感できとても嬉しかったという感想が多く聞かれたそうです。学んだことを活かし地域に貢献するといった取り組みを今後も継続していきたいとのこと。測量技術などが生かせる要望がありましたら、青洲高校までお問い合わせください。

「いきいき教育地域人材活用事業」の一環として、一月二日(火)、わかば支援学校ふじかわ分校において、小学部・中学部の生徒一三名が参加し、「ゆかいな現役保育士ユニット『カワクボメガネ』から三人の講師を招いて『芸術鑑賞教室(遊び歌の鑑賞及び体験)』が行われました。
まず初めに、遊び歌(あげてさげてこちよこちよする



パクツと食べましょう!

「と大きな声を出して盛り上がりを見せました。続いて、ダンス(すっぽん)を行いました。歌に合わせて元気いっぱい体に動かし「すっぽん!」の声に合わせて勢いよく飛び上がる姿が見られました。最後に、ふじかわ分校の児童生徒が、普段から合唱曲として取り組んでいる『にじ』をみんなが歌い、充実したひとときを過ごしました。感想発表では「楽しかった。面白かった。ありがとうございました。」といった言葉が聞かれ、お礼として、児童生徒が製作に取り組んだ、マリーゴールドを使って染めた手ぬぐいを贈りました。



みんなで『にじ』の合唱

まえに「パクツと食べて、クルツとまわして、パクツとたべましょう」が行われました。講師の方々の説明を聞きながら、児童生徒も一緒になってリズムをとったり、歌を歌ったり、手足を動かしたりしながら楽しんでいました。次に、パネルシアター『ねこのお医者さん』が行われました。物語の中に歌がちりばめられており、患者さんを治す場面では、みんなが「ニャー」と大きな声を出して盛り上がりを見せました。続いて、ダンス(すっぽん)を行いました。歌に合わせて元気いっぱい体に動かし「すっぽん!」の声に合わせて勢いよく飛び上がる姿が見られました。最後に、ふじかわ分校の児童生徒が、普段から合唱曲として取り組んでいる『にじ』をみんなが歌い、充実したひとときを過ごしました。感想発表では「楽しかった。面白かった。ありがとうございました。」といった言葉が聞かれ、お礼として、児童生徒が製作に取り組んだ、マリーゴールドを使って染めた手ぬぐいを贈りました。



『ねこのお医者さん』

大塚にんじん収穫体験 (市川三郷町)

一二月一日(金)、市川三郷町大塚地区(市川三郷町役場勤務、塩島さんの父の畑)において、町内の五つの保育所・園(三珠保育所・大塚保育所・高田保育園・ひまわり保育園・定林寺立正保育園)の年長児約三〇名が一堂に会し、大塚にんじんの収穫体験を行いました。この行事は、「地元の特産物や特産品について知ってもらうこと」「畑の土(赤褐色黒ボク土)に触れてもらうこと」を目的として、一二月の恒例行事となっております。最近では甲府地区の認定こども園も対象に行っています。

まずは、指導農業者の杉山成江さんから、収穫する(引き抜く)際の注意点を聞いた後、園児達は畑いっばいに散らばって収穫がスタートしました。

※注意点…茎や葉っぱの部分を引き取るにちぎれてしまうので、にんじんの実の部分の最上部を両手でしっかりと引き抜くこと。

抜けない場合は、役場の担当者(スコップや掘り棒を使って穴を深く掘ってくれるので、無理に抜かないで、助けを呼ぶこと)。



しっかり説明を聞く!

夏の暑さの影響で「細いにんじんが多い」ということでしたが、中には、一メートルを優に超え園児の背丈ほどもある太くて長いにんじんもあり、園児達は、六名の役場の担当者に助けられたり、友だちと協力したりしながら、時間が経つのを忘れて一心不乱に収穫を行いました。約一時間半の体験でしたが、千本を超える大塚にんじんが収穫でき、園児達からは「たくさん抜けて楽しい・思っていたより長くてびっくり・早く食べたい」といった感想を聞くことができました。



真上に引き抜く!



“なが〜い”大塚にんじん!

“た〜くさん”収穫できました!

わくわく科学教室 (富士川町)

一二月九日(土)、増穂小学校体育館において、富士川町教育委員会生涯学習課が企画・運営を行っている「わくわく科学教室」が開催されました。この教える様子から室は、「放課後子供教室推進事業」の一環として、富士川町内の三つの小学校の「増穂小・増穂南小・鵜沢小」の三年生とすることができ、六年生までの希望者約四〇名を対象として、「科学実験を通して体験学習講座で実験・工作を通して科学への興味・関心を高めること」を目的とし、年間五回行われています。今年度は、「風船ボール、ドライアイス実験、しゃぼん玉、ペットボトルロケット、風船スライム、玉ねぎ染め、空気砲、浮沈子(ふちん)、ゲーム、静電気実験、地面すれすれ飛行機」といった講座が開かれました。この講座では、初めに四名の講師の方から、当日行う実験や観察の内容を資料や動画等を使って詳しく説明を受け、内容をしっかりと理解したところ、班ごとに分かれて工作や観察・実験などを行いました。

今回は、「地面すれすれ飛行機」と「静電気クラゲ」の二つの講座が設けられ、まず「地面すれすれ飛行機」の製作を行いました。完成した飛行機を各自で投げながら、どうやったらもっ



班ごとに集まって製作!

参加した児童からは、「動画を使った説明がわかりやすかった。」「知らないことばかりで驚いた。」「いろんな発見があり理由もわかった。毎回楽しく参加できて良かった。」といった感想を聞くことができました。

※楽しかった実験ベスト3
一位：地面すれすれ飛行機
二位：ペットボトルロケット
三位：玉ねぎ染め



静電気クラゲ!



地面すれすれ飛行機

誰のが1番飛んだかな?

と飛ぶのかを考え、投げ方や、飛行機の形、おもりを付ける位置や数など、様々な工夫していました。ただ作って終わりではなく、ど

身延高校十身延中学校・南部中学校 中高連携キャリアセミナー

一二月一三日(水)、身延中学校・南部中学校において、身延高校一年生が各中学校の二年生を対象として、「産業社会と人間」と、「総合的な探究の時間」で取り組んだキャリア教育の成果を発表する、中高連携キャリアセミナーが行われました。この事業は、身延・南部地域連携中高一貫教育の取り組みとして、「豊かな人間性を育み、社会性やコミュニケーション能力の伸長を図る」ことを目的としており、中高合同授業として行われています。また、高校生にとっても中学生にとっても、この事業を通して、「キャリアプランニング能力」や「コミュニケーション能力」、「人間関係形成能力・社会形成能力」といった今後の人生で必要とされる資質・能力を育成し、自己の能力や適性を踏まえた進路実現ができるよう、進路選択の幅を広げることも視野に入れながら実施しています。

今回の授業では、身延高校生が各中学校に六つのブースを設け、プレゼンテーションを行う形で実施されました。プレゼンテーションでは、フリップを使いながら、興味を持った職業について、様々な視点から課題を設定し、仮説を立て、深く探究する課題を再設定し、インターネットや実際に会社を訪れてインタビューを行った調査結果を五分程度でまとめ、丁寧に説明を行い、その後、中学生からの質問に答えるといった形で進行していきましました。中学生は、班ごとに三つのプレゼンテーションを聞き、それぞれの

ブースで熱心にメモ取ったり、疑問に思ったことを積極的に質問したりしながら、興味関心を深めていました。初めはお互いに緊張した様子でしたが、普段から交流があることもあり、発表が進むにつれて、高校生は自信に満ちた表情で中学生に語りかけ、質問にもしっかりと答えることができていました。

身延中学校での発表内容

- ・スポーツ 治らない怪我に対してどのように対処するか。(柔道整復師)
- ・支える人 唯一無二の残る人になるには(福祉士)
- ・身延町で結婚式場を作るなら何を活かす？(ウエディングプランナー)
- ・人にしかできない仕事(工場・ものづくり)
- ・低コストで農産物を生産する物づくり(農業)
- ・未来を創る農業(農業)
- ・南部中学校での発表内容
 - ・医療従事者の負担が大きいのか。(看護師)
 - ・結婚式場のテーブルが丸い理由(ウエディングプランナー)
 - ・カーデザインの今の課題(車のデザイン)
 - ・警察という職(警察官)
 - ・なぜ時代や場所所で化粧の流行が異なるのか。(メイク)
 - ・心を病みやすい時期はあるのか(心理カウンセラー)

身延高校生徒感想

○なかなか中学ではプレゼンテーションをする機会がなかったので今回、このような機会に誰かに発表をするという体験が出来て良かったです。そのおかげで

プレゼンテーション能力とコミュニケーション能力をあげることが出来たと思います。また、今回調べたことを無駄にしないためにも普段からのニュースなどで似たものが出た時など、よく見てアンテナを高くしていきたいです。

南部中学校生徒感想

○発表を重ねていくうちに相手に対してどうすれば伝わりやすいかを考えることが発表を改善することができた。また、質問などに対してしっかりと回答することもできた。また以前の課題となっていた発表する速さも気をつけることができた。

南部中学校の様子



身延中学校の様子



○キャリアセミナーを通して色々な職業や、身延高校の学習活動について知ることができてよかったです。また調べたことを発表するときの喋り方だけではない、スライドもわかりやすくまとめてあったので、とても聞きやすく参考にしていきなと思います。

身延中学校生徒感想

○想像していたよりもとても面白く、全く知らなかった情報などもたくさん知れて、とてもいい時間を過ごせたなと思いました。

○わかりやすく、興味を引くようなプレゼンで、しかも、専門的な知識を詳しく丁寧に発表していただき、その職業の知識などを知ることができたし、プレゼンの仕方を学ぶことができた。また、コミュニケーション能力も身に着けることができてよかった。とてもいい機会でした。